

法政大学 理系同窓会報

旧・法政大学工学部同窓会報

卒業生64,800名
第13号

■理系同窓会は理工学部・デザイン工学部・生命科学部・情報科学部——4学部一体の組織■ URL:<http://133.25.196.100/>

発行所 〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2 理系同窓会 TEL/FAX 042-387-6385 発行人：村主 康和・編集人：会報編集委員会

会長挨拶 法政の輪を大きくそして強固に



法政大学理系同窓会 会長

すぐり やすかず
村主 康和 (電気74)

2023年4月より理系同窓会会長となりました村主康和です。皆様へのご挨拶が遅くなり申し訳ございません。

1974年3月に工学部電気工学科電気電子専攻を卒業し、メーカーで製品開発を行ってきました。そして定年退職後に先輩方から声をかけていただき同窓会活動に関係するようになったのが今までの経緯です。

同窓会に関係するようになって改めて同窓会とはを考えると縦と横の関係があるのではと思いました。

定年退職するまでは学科同窓会が主で参加し先輩や先生方との縦のつながりでの同窓会でしたが、理系同窓会に入ってから他学科同窓会+工体連OBOG会との横のつながり、さらに他学部同窓会との横のつながりと同窓会活動を行う事で法政大学が多岐にわたり多くの人とつながりが出来る総合大学である事を実感しました。

このような法政大学が総合大学と実感できたのは定年後であり、同窓としての人と人のつながりが若いころから関係していれば自分自身の人生がもっと豊かになっていたのではと

思います。

大学を卒業して数年から数十年経った方までが同窓として集うことが出来るので現役の方は仕事のつながりに法政大学のつながりが加わる事でプラス面が多くなると感じます。

その為には大学へ行く機会をつくる必要があります。

理系同窓会主催では年に一度ですが皆様に小金井キャンパスに集まっていただき学生時代を思い出すこととお仲間と集まっていたためにホームカミングデーを開催しています。理系学部を卒業された全ての方の参加が可能です。

例年ですと小金井祭に合わせたホームカミングデー開催となっていました。本年度は理系コンソーシアムとの共同開催となった事から9月に開催しました。この時にキャリア相談会として各団体や企業からリクルーターとして参加いただく事もお願いしています。

まずは卒業されても大学とのつながりを持つ機会があるので積極的なご参加をお願いします。このホームカミングデーには校友会、他学部同窓会の方にもご参加いただいているので横のつながりを知る一つの機会でもあります。

同窓会を知る上でも是非ともホームカミングデーへのご参加をお願いします。

皆様が楽しめる、そして参加された皆様が次回は友人を誘って参加したいと思えるようなホームカミングデーとしたいので、多くのご意見もお待ちしております。

卒業後も大学とのかかわりを持っていただきたい、かかわりを持ちたいと思える新時代の同窓会を皆様の力で立ち上げていただきたいとのお願いです。

大学理事よりご挨拶



法政大学
常務理事・副学長
金井 敦

コロナ禍も終息しつつある現在、教育と研究における新たなあり方を構築し、それをさらに発展させる時期にあると認識しております。加えて、現在の日本は今後少子化が見込まれており、さらには物価や為替変動、不安定な国際情勢といった将来を予測しにくい環境変化にも直面しています。このような状況の中で、今後競争が激化してくる教育研究分野において、学生にとり魅力のある教育の実現と研究成果による社会貢献の更なる実践が求められていると認識しております。

このような背景を踏まえ、法政大学としては、理系同窓会の皆様とのより一層の連携が非常に重要であると考えております。特に、理系同窓会の皆様のご理解とご支援により昨年設立された法政大学理系コンソーシアムは、卒業生、企業、自治体、および大学が一体となって、すべてのステイクホルダーにとって魅力的な活動を展開することが期待されています。本コンソーシアムは、上述の諸問題の解決に向けた強力なソリューションのひとつとして重要な位置を占めると考えます。改めてご支援に感謝申し上げます。

法政大学は、理系同窓会の皆様が社会で活躍し、現役の学生や教員と協力して活動することにより、大学の競争力を強化し、さらなる発展を遂げることができると確信しています。法政大学ならびに発足間もない理系コンソーシアムへのご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。今後も、理系同窓会、教職員、学生、企業との連携をより密にし、理系同窓生の皆様のさらなる活躍と発展を促進することに努めてまいります。

2023年9月 理系コンソーシアム 誕生

ごあいさつ

法政大学理系コンソーシアム設立準備委員会委員長

理工学部長 伊藤 一之



次世代を担う理工系人材の育成を目的として、2023年9月1日、法政大学理系コンソーシアムが誕生しました。

世界は産業革命以来の大転換期を迎え、AIをはじめとする情報技術から、ロボットやドローン、自動運転、宇宙開発に至るまで、広範囲にわたって同時多発的な技術革新が起こり、我々を取り巻く環境は、大きく、そして加速度的に変わりつつあります。

そして、この新しい時代に相応しい、広い視野と柔軟な思考力・発想力を持った人材の育成が求められています。

本学では、企業様、自治体様と共に、法政大学理系コンソーシアムを設立し、本学同窓生の支援のもと、次世代を担う人材を育成すべく、学生の活動を強力にサポートして参ります。

具体的には、奨学金をはじめとする就学支援から卒業後のキャリア形成に至るまで、一貫したサポート体制を構築するとともに、実社会との接点をもち、新しい課題に向けて様々な形でチャレンジできる環境を整備いたします。そして、日本全国ならびに世界各国から高い志を持った人材を集め、最先端の科学技術の修得に加え、日本の文化を深く理解し日本の強みを活かすことのできる人材、ならびに、様々な国の文化を尊重し異なるバックグラウンドを持つ人々と力を合わせて事業を成すことのできる人材へと育て、日本全国ならびに世界各国へとお送り出して参ります。

本コンソーシアムの今後の活動にご期待頂くとともに、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

設立記念式典・祝賀会開催報告

9月15日に、小金井キャンパスにてホームカミングデーが開催され、キャリア相談会、名誉博士学位授与式・記念講演会、理系コンソーシアム設立記念式典・祝賀会が執り行われました。

キャリア相談会は、理系コンソーシアムのメインイベントの一つであり、卒業生や企業様のご協力のもと、学生の就職やキャリア形成を強力にサポートしていく試みです。今回は、約50社100名の企業様、ならびに、約250名の学生諸君にご参加頂き、大変盛況な相談会となりました。

名誉博士学位授与式・記念講演会では、本学卒業生でQRコードの発明者である原様に名誉博士号が授与されました。また記念講演会では、日常の閃きが発明に繋がったことなど、発明者ならではの大変興味深い



名誉博士号を授与された 原 昌宏氏



理系コンソーシアム 設立記念式典 鏡開き

お話しを伺うことが出来ました。このような偉大な発明家が法政大学から輩出されたことは、同窓生一同にとって大きな励みとなり、とても誇らしい気持ちとなりました。是非、後進も原さんに続いてほしいと思います。

その後、理系コンソーシアムの設立記念式典が執り行われ、祝賀会には約500名もの皆様にご参加頂き、この門出を盛大にお祝いすることができました。ご参加頂きました皆様、誠にありがとうございました。



盛況だったキャリア相談会

祝 法政大学理系コンソーシアム発足

ホームカミングデー 2023 報告

理系同窓会ホームカミングデー実行委員長 佐藤 良一 (建築75)

2023年9月1日 一般社団法人法政大学理系コンソーシアムが発足しました。

法政大学理系4学部と理系同窓会との共同企業体として推進してゆく事業です。

発足を祝し、9月15日発足式典が執り行われ、理系同窓会ホームカミングデーにおいて祝賀会がおこなわれました。

法政大学総長はじめ法政大学全学と、このコンソーシアムに賛同及び会員となっていた企業・自治体・メディア(発足当時は約110社)の皆様から参加していただきました。金井副学長のご挨拶、小金井市長の祝辞、来賓の皆様からの祝辞の後、鏡開きとともに賑やかな祝賀会となりました。

また、国内にかぎらず、世界中で使用されているQRコードの発明・開発者である原 昌宏氏('80電気学科卒)へ法政大学名誉博士号の授与が行われ、授与式典後に参加されています。

さらに理系コンソーシアムの第1弾としての「キャリア相談会」も同時開催されました。卒業生を中心に約50社の企業から相談員を派遣していただき、学生約250名が参加しての相談会となっています。

その後のイベント(抽選会)も賑やかにおこなわれました。

このように祝賀会には総勢約480名の皆さんに参加していただき、大変賑やかな祝賀会となり、理系コンソーシアムの船出の大きな後押しをしていただきました。

今後も校友会のご協力を得ながら、理系コンソーシアムが羽ばたいてゆくこと、また卒業生の皆様の多大なご援助、ご協力をもって今後大きく展開されてゆくことが期待されます。

理系コンソーシアムの本年度の第2弾として「法政大学科学技術フォーラム」も3月に開催いたします。こちらも是非ご期待ください。



参加者一同による祝宴の乾杯



歓談の様子

“第29回法政大学全国卒業生の集い 倉敷大会” 参加報告

法政大学理系同窓会 理事 高橋 敏男 (建築72)

令和5年11月4日に秋空の下、倉敷アイビースクエアを会場に式典・懇親会が盛大に開催されましたことをご報告いたします。



会場の倉敷アイビースクエア

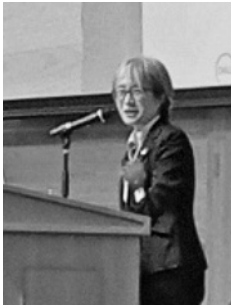
第一部の式典は、まず竹中宣雄大会会長挨拶に始まり、西康宏岡山県校友会会長の歓迎挨拶、続いて廣瀬克哉法政大学総長と和佐原征一郎後援会会長の祝辞を頂きました。

続いて我が「理系コンソーシアム」の案内を法政大学理系コンソーシアム代表理事で理工学部長伊藤一之教授が500名を超える方々に設立主旨を判り易く説明。また世界で毎日使われているQRコードは法政OBの原昌宏氏の発明であることも紹介された。

地域と企業と大学・学生との連携、繋がりが必須で、関係者相互にメリットのあるコンソーシアムであることを強調された。

勿論、大原美術館代表理事の大原あかね氏と伊東香織倉敷市長には対面で協力要請しました。

卒業生の皆さんは、倉敷といえば、真っ先に大原孫三郎の名前が浮かぶのではないのでしょうか。現在、法政大学には大原社会問題研究所がありますが、元は倉敷の偉人・大原孫三郎氏が創設した社会科学分野で日本最古の歴史をもつ民間研究機関です。



大原美術館代表理事の大原あかねさん

記念講演は、曾孫で公益財団法人大原美術館代表理事の大原あかねさんが「大原美術館で考える」との演題でお話しをされました。

講演要旨が当日配布された大会記念誌に掲載されていますが、参加されなかった方のために引用させていただきます。

現在HOSEIミュージアムで2023年度テーマ展示として「働く人々と社会の探究」が「社会を記録する」が開催中ですが、大原社会問題研究所とコラボしたものです。第1部は2023年9月1日(金)～12月23日(土)、第2部は2024年1月10日(水)～4月27日(土)の期間、開催されていますので、是非ご覧頂きたいと思えます。

大原孫三郎は社会問題研究所、美術館のみならず、労働科学研究所、岡山大学資源植物科学研究所、倉敷中央病院、保育園設立等多くの研究所、福祉関係に貢献された実業家です。講演では沢山のスライド写真を使って美術館創設に係わった人たちの話があ

り感動しました。美術館は画家児島虎次郎との友情と、そして孫三郎の未来への信頼のもとに作られたのです。児島画伯の蒐集物を含むコレクションは息子總一郎時代の第二次大戦をくぐり抜け、コレクションの幅も拡げ、展示場も増やし、「絵画をみるだけでない美術館」を実践した。さらに孫の謙一郎が、より地域と世界との繋がりを強め、活動の幅を拡げ、現在は「みんなのミュージアム」をスローガンにして、未就学の子達の受入れ、G7教育大臣会合や労働雇用大臣会合のレセプション会場に提供したり、ビジネス研修の場にしたり、すべての人が「自分の美術館だ」と思ってもらえるよう頑張っていることが語られました。

講演を聞かれた方々は、一層、法政大学との縁を強く感じ、倉敷そして大原美術館が身近に感じられたことと思います。

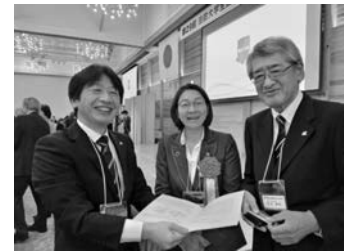
第二部の懇親会では、倉敷天領太鼓演奏、倉敷市長伊東香織さんの来賓挨拶、岡山県校友会副会長藤森元則氏の乾杯挨拶と乾杯を受けて、食事歓談の間に、倉敷うらじゃ連四季のうらじゃ(踊り)、終盤では応援団演奏があり、メの校歌斉唱で校歌が高らかに歌いあげられました。そして来年の秋田大会へと大会旗が引き継がれ、興奮覚めやらぬうちに懇親会は閉じました。

“百聞は一見に如かず”と言われます。

次年度の秋田大会には是非、参加して、“法政の今”を実感してください。

翌日のエクスカースションは、「晴れの国おかやま」を象徴して少し暑い日曜日でしたが、スケジュール通りに倉敷美観地区の自由散策。

そしてバスに乗って、江戸時代後期に大規模な塩田を開いた野崎武左衛門の屋敷(旧野崎家住宅)、そして、せとうち児島ホテルで昼食を摂り、午後は、むかし下津井廻船問屋・町並み保存地区の見学と与島(瀬戸大橋)PA(道の駅)で瀬戸内の海を眺めたり、迫る瀬戸大橋を観て土木技術の偉大さと島々を繋ぐ長さに圧倒されました。帰路、岡山駅までの車内は西陽を浴びて心地よく暫しうたた寝、しかし最前列左手通路側の席で見晴らしは最高。目は虚ろながら児島の海に突き出た所が鷺羽山だが、この山が力士鷺羽山の由来だというガイドの説明だけはハッキリと覚えています。以上



伊藤一之教授と伊東香織倉敷市長、そして村主康和理系同窓会会長



中央は石渡校友会副会長

理系同窓会テーブル前で



下津井廻船問屋・町並み保存地区



旧野崎家住宅



瀬戸大橋(与島PAで)



鷺羽山

学部長挨拶



理工学部長
伊藤 一之

2023年度は、法政大学理系コンソーシアムの設立をはじめ、理工学部にとって大きな転換点となる飛躍の年となりました。これもひとえに同窓生の皆様のお力添えのおかげです。誠にありがとうございます。

今後は、このコンソーシアムを核に、企業、高校、地方自治体との連携をさらに深め、力を合わせて新しい時代を担う若者を

育てて参ります。具体的には、コンソーシアムにご参加いただいた自治体の高校を中心に、高校・大学間の連携をさらに強化し、法政大学への進学を支援するとともに、就職の支援や共同事業の実施を通して自治体の活性化にも寄与して参ります。また、高校に加え、高専を卒業した学生の受け入れを開始すべく、3年次編入の制度につきましても準備を進めております。さらには、国内にとどまらず、ベトナムの郵政通信技術大学とも協定を結び、広く海外からも志の高い学生を受け入れていく予定です。産学官の共同事業につきましては、法政科学技術フォーラムを一新し、大学院生を中心に据え、若者の新しい発想を育てる試みを強力に推し進めて参ります。

今後も「これからの社会に必要とされる大学」として、法政大学の存在感が益々高

まりますよう邁進して参りますので、同窓生の皆様には、引きつづきお力をお貸し頂きますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、学部長の任期も2023年度末で満了となり退任いたします。2年間に渡り大変お世話になりました。難題にぶつかり行き詰まっているとき、それを乗り越えるための温かいご助言と力強い後押しをしてくださったのは、いつも同窓生の皆さんでした。佐藤前会長、村主会長、竹中校友会長、碓井事務局長をはじめ、多くの皆様に学部の枠を超えてオール法政でご支援を頂きました。心より感謝申し上げます。

来年度からは、一教員として、また、同窓生の一人として、皆様に恩返しができると思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。



生命科学部長
廣野 雅文

2023年度の生命科学部における大きな変化は、やはり長く続いたコロナ禍から回復です。特に、生命科学部の教育に大きな比重を占める実験・実習は、オンライン化が難しい上に密になることが避けられな

い、コロナ禍中ではその実施に学生・教員ともにたいへんな苦労がありました。しかし、今年度は以前の形にほぼ完全に戻りました。また、研究室も昨年度は同時に入室できる人数を制限していましたが、現在の4年生は感染に留意しつつもそのようなことは気にせず卒業研究に取り組むことができている。この学年は大学に入学した当初からコロナ禍に見舞われ、大学に通学することさえままならない状況でした。その学生たちが学生生活の最後に、仲間と共に研究に打ち込む経験を得たことは本当に喜ばしいことです。

今年度のもう1つの大きな変化は、理工学部とともに教養教育のカリキュラムを改

変し、新入生向けにリメディアル科目を開講したことです。数学、物理、化学、生物の基礎的な科目について、高校レベルの内容に立ち戻って学びたい学生のために機会を設けました。いざれ学ぶことになる専門科目の内容を十分に理解するために、入学直後の時期にこれらの科目を基礎から学ぶことはとても重要だと考えてのことです。今後も、生命科学部の教育の質向上に向けたこのような努力を継続してまいります。

最後になりますが、今後も新しい卒業生へのご支援を心よりお願いいたします。彼らが社会に羽ばたくために、皆様のご支援が必要です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



情報科学部長
藤田 悟

文部科学省が、成長分野をけん引する高度人材の育成を担う大学の機能強化の政策を掲げ、理工系分野の学位取得者の増加支

援策を進めています。また、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度が始まり、本学では全学的なカリキュラムに加え、情報科学部独自の応用基礎レベルのカリキュラムを開始し、すでに多くの学生が修了証明を受けております。

このように、社会的、経済的情勢から、理工系人材の重要性が高まり、理工系学部の教育への注目度が高まりつつあります。しかし、理系同窓会の会員の皆様にとっては、何を今更という感想も持たれるかもしれませんが、将来の重要な分野であると考えたからこそ、法政大学の理系学部で学び、

現在に至り、社会の中核となって活躍されていることと存じます。

技術は進歩し、次々と新しいアイデアが提唱され、社会に実装されてきています。とどまることを知らない技術の流れを冷静に見つめて判断し、活用し、そして、次の流れを見つけて、さらに新しいものを生み出していく力が理工系分野の卒業生に求められています。法政大学で学んだ理系教育の素養をもって、今後ますますのご活躍のことを期待しております。



デザイン工学部長
岩月 正見

2023年4月からデザイン工学部長に就任いたしました岩月と申します。私は、1992年に当時の工学部電気工学科電気電子専攻に着任し、その後すぐの改組で工学部電気電子工学科、そして2004年に新設された工学部システムデザイン学科へと移籍、さらに2007年には工学部建築学科と都市環境デザイン工学科とともにデザイン工学部が設

立され、市ヶ谷田町校舎への移ってまいりました。このように私の就任期間の前半は、言わば本学理工系学部の大きな変革期に当たりました。

デザイン工学部設立の際には、大学執行部や事務の皆様には私どもの我儘やご無理に真摯にかつ根気強く向き合ってくださいました。これまでの様々な困難や課題を何とか乗り越えてくることのできたのは、そのような多くの方々のご支援のおかげです。同窓生の皆様におかれましても、相次ぐ組織の転換に対して柔軟にご対応いただき今日に至ったことを、日ごろのご支援とともに心から感謝しております。

さて近況報告ですが、今年度はコロナ禍も終息し、授業だけでなく、これまで自粛していたゼミ合宿やパーティなどのイベントも再会できるようになり、校内には元の

活気がやっと戻ってまいりました。学生たちは、今までの鬱憤を晴らすかのように、例年以上に積極的に会合やイベントを企画し、参加しているように感じます。

デザイン工学部では、持続可能な社会を実現するためのデザインと工学の実践的教育に力を入れており、それをサポートするユニークで優秀な教員が揃っていると自負しています。学生たちはその指導の下で、毎年国内外の学会やコンペで大きな実績を残しています。その類稀なる実績や豊富な社会活動は、各学科のサイトでご確認いただけますので、ぜひ一度ご覧ください。

最後に、同窓生の皆様には、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

理系4学部 専任教員 研究・教育活動に対する受賞・表彰者一覧

学部	教員名	所属等	受賞年月日	受賞名、授与機関等、受賞・表彰概要	
理工学部	川上 忠重	機械工学科 教授	2023/3/18	2022年度日本高等教育開発協会賞	日本高等教育開発協会
				マイクロ・ミドルおよびマクロレベルの学内外における教育活動に関する活動	
	中村 壮亮	電気電子工学科 教授	2022/12/23	SI2022 優秀講演賞	公益社団法人 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会
				WPT-Robotの研究：実用化に向けたシステム設計及び基礎開発	
	中野 久松	電気電子工学科 名誉教授	2023/3/21	荣誉教授任命 (Honorary Professor Appointment)	Swansea 大学 (英国)
			①大学院生に対し、メンターとして研究指導を行い、4人の博士学位取得を可能にした点、②同大学の研究者と共に総計6編の論文を英国、米国の論文誌 (IET, IEEE, Nature Science Report) へ公表した点、さらに③ヨーロッパの研究機関において学術講演を行い、その活動を通して電磁波工学の向上に努めた点、ならびに、次の項目 (A)~(D) が評価対象になりました。(A)国内外に於けるこれまでの教育研究実績、(B)論文引用数実績、(C)国際性、(D)産業界への貢献		
	和佐 州洋	応用情報工学科 准教授	2023/3/3	2022年度 山下記念研究賞	一般社団法人 情報処理学会
				Constant Amortized Time Enumeration of Eulerian trails	
	小宮山 裕	創生科学科 教授	2023/3/15	欧文研究報告論文賞	公益社団法人 日本天文学会
				"GOLDRUSH. II. Clustering of galaxies at $z \sim 4-6$ revealed with the half-half-million dropouts over the 100 deg^2 area corresponding to 1 Gpc Gpc^3 ". Y. Harikane et al. Vol. 70 (2018), No. SP1, article S11 "Subaru High High- z Exploration of Low Low-Luminosity Quasars (SHELLQs). II. Discovery of 32 quasars and luminous galaxies at $5.7 < z \leq 6.8$ ". Y. Matsuoka et al. Vol. 70 (2018), No. SP2, article id. S35	
生命科学部	北村 研太	環境応用化学科 教務助手	2022/5/18	2022年度粉体工学会春期研究発表会 BP (バストプレゼンテーション) 賞	一般社団法人 粉体工学会
				液中粒子の分散・凝集状態が変化するメカニズム	
			2022/6/28	第11回新化学技術研究奨励賞	公益社団法人 新化学技術推進協会
				液中粒子の分散・凝集状態の制御方法を利用し、水不足問題の解決に繋がる新しいプロセスの開発	
	高井 和之	環境応用化学科 教授	2022/12/8	2022年度学会賞 学術賞	炭素材料学会
				グラフェンの視点にもとづいた炭素材料の機能化に関する研究	
	津田 新哉	法政大学植物医科学 センター長 応用植物科学科 教授	2021/12/20	感謝状授与	農林水産省
				国際植物防疫年 (International Year of Plant Health: IYPH2020) オフィシャルサポーター活動への取り組み	
情報科学部	高村 誠之	デジタルメディア学科 教授	2022/5/24	標準化功績賞	一般社団法人 情報処理学会 情報規格調査会
				SC29 関連規格の策定を通じた映像関連産業の活性化	
			2022/6/7	フェロー	一般社団法人 情報処理学会
				映像符号化技術の研究開発とその国際標準化および普及活動	
			2022/12/1	PCSJ/IMPS 優秀論文賞	一般社団法人 電子情報通信学会
				ベクトル量子化に基づく高効率深層学習型画像圧縮手法に関する検討	
			2022/12/1	PCSJ/IMPS バストポスター賞	一般社団法人 電子情報通信学会
	多数回撮像画像の加算平均雑音低減における問題とその改善				
2022/12/7	22年度 IE 賞	一般社団法人 電子情報通信学会 画像工学研究会			
	ラティスベクトル量子化を用いた Hyperprior に基づく変分オートエンコーダ型画像圧縮手法				
2022/12/31	Certificate of Appreciation	IEEE Region 10			
	In recognition of his dedicated services and commitment as the IEEE Region 10 Strategic Planning & New Initiatives Committee Chair for 2021-2022				
2023/3/13	22年度 IE 賞	一般社団法人 電子情報通信学会 画像工学研究会			
	デジタル撮像における光ショット雑音の功罪 ~真の明るさの取得を目指して~				
デザイン学部	赤松佳珠子	建築学科 教授	2022/5/14	第42回東北建築賞 一般建築部門・特別賞	一般社団法人 日本建築学会 東北支部
				東北地方においてその建築文化や環境形成の向上に貢献し、地球環境時代に相応しい優れた建築作品、東北地方で発表された将来性が期待される研究活動など	

理系同窓会 理事
法政大学理系コンソーシアム 理事長理工学部長 伊藤 一之
計測 1996年卒〒184-8584 小金井市梶野町 3-7-2
TEL 042-387-6385
https://www.k.hosei.ac.jp/ito/理系同窓会事務局
法政大学理系コンソーシアム 事務局長碓井 正博
法律 1984年卒〒184-8584 小金井市梶野町 3-7-2
TEL 042-387-6385

理系同窓会

相談役 岡本 眞

建築 1970年卒
一般社団法人 法政大学校友会
学部協議会ブロック理事

E-mail maxokamoto666@yahoo.co.jp

法政大学

常務理事/副学長 金井 敦

〒102-8160 千代田区富士見 2-17-1
TEL 03-3264-9220理系同窓会 相談役
法政大学理系コンソーシアム 理事佐藤 良一
建築 1975年卒〒184-8584 小金井市梶野町 3-7-2
TEL 042-387-6385

理系同窓会

会長 村主 康和
電気 1974年卒〒184-8584 小金井市梶野町 3-7-2
TEL 042-387-6385

学部	教員名	所属等	受賞年月日	受賞名、授与機関等、受賞・表彰概要	
デザイン工学部	赤松佳珠子	建築学科教授	2022/5/30	2022 年日本建築学会作品選奨 山元町役場	一般社団法人日本建築学会
	網野 禎昭	建築学科教授	2022/10/6	ウッドデザイン賞 2022 木質素材「吸音 DLT」の開発による受賞	一般社団法人 日本ウッドデザイン協会
			2022/10/6	ウッドデザイン賞 2022 優秀賞 (林野庁長官賞) ソーシャルデザイン部門 住宅「パウマイスターの家」の設計施工による受賞	一般社団法人 日本ウッドデザイン協会
			2022/11/30	2022 年度グッドデザイン金賞 (経済産業大臣賞) 住宅「パウマイスターの家」の設計施工による受賞	公益財団法人 日本デザイン振興会
	宮田雄二郎	建築学科准教授			
	小堀 哲夫	建築学科教授	2022/5/30	2022 年日本建築学会作品選奨 NICCA イノベーションセンター	一般社団法人 日本建築学会
	山道 拓人	建築学科准教授	2022 年度	JIA 新人賞 BONUS TRACK	公益社団法人 日本建築家協会
			2022 年度	第 48 回東京建築賞 一般一類部門最優秀賞 及び新人賞 BONUS TRACK	一般社団法人 東京都建築士事務所協会
			2022 年度	2022 年日本建築学会作品選集新人賞 BONUS TRACK	一般社団法人 日本建築学会
			2022 年度	令和 4 年度日事連建築賞 小規模建築部門・ 優秀賞 BONUS TRACK	一般社団法人日本建築士事務所協会連合会
			2022 年度	SD レビュー 2022 朝倉賞 森の端オフィス	鹿島出版会
	今井 龍一	都市環境デザイン工学科准教授	2022/3/28	2021 年度業績賞 公的統計として活用できる日本最大級の交通ビッグデータ：人口流動統計の開発と実用化	一般社団法人 情報処理学会
			2022/9/29	土木情報学論文賞 夜間の交通量調査のための GAN の適用に関する研究	公益社団法人 土木学会
			2022/12/1	2022 年 AI・データサイエンス論文賞 機械学習を用いたプローブデータの走行車線の推定に関する一考察	公益社団法人 土木学会
	ソノ ヨニア	システムデザイン学科教授	2022/3/20	ナレッジイノベーションアワード 2022 ナレッジキャピタル部門 準グランプリ 分身ロボットの研究でデザイン及びインタラクションの設計指針を調査	ナレッジイノベーションアワード事務局
			2022/11/16	Innovative Technologies 2022 Puff me up! 身体から生えてくる柔らかい分身ロボット	一般財団法人 デジタルコンテンツ協会
	田中 豊	システムデザイン学科教授	2022/5/27	2021 年度 日本フルードパワーシステム 学会 学術貢献賞 多年にわたるフルードパワー工学・技術の研究	一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会
	朴 賛弼	システムデザイン学科助手	2022/1/15	第 6 回「武蔵野美術大学建築学科 長尾重武賞」 日本の風土と景観 WEST ZONE 日本の風土と景観 EAST ZONE	武蔵野美術大学建築学科
山田 泰之	システムデザイン学科准教授	2022/6/2	ロボティクス・メカトロニクス部門 ROBOMECH 表彰 (産業・実用分野) TasKi: バッテリーのいらぬ腕アシスト装置～シンプルな構造と動作追従性と量産性～	一般社団法人 日本機械学会	
		2022/10/14	第 4 回 大成学術財団選奨 銀賞 ハンドリング荷重を自動多段調整可能な機械式自重補償上腕アシスト装具	一般財団法人 大成学術財団	
		2022/11/11	h concept DESIGN COMPETITION 2022 優秀賞 KAWARA	アッシュコンセプト株式会社	

理系 4 学部の受賞記録 (2022年 4 月 1 日～ 2023年 3 月 31 日) より参照

NISSAN
AUTOMOTIVE
TECHNOLOGY

株式会社日産オートモーティブテクノロジー

日産グループの一員として、クルマを開発しています

本社住所 : 神奈川県厚木市岡田 3050 厚木アクストメインタワー12F

TEL : 046-220-4771 (直通) E-Mail : NAT-recruit@mail.nissan.co.jp

理工学部・生命科学部・情報科学部・デザイン工学部 新任教員の研究紹介



理工学部
機械工学科
教授

南部安宏

2023年4月より着任致しました南部安宏と申します。昨年度まで、日本航空株式会社にてBoeing767型機の機長として航空機の運航に携わっておりました。在籍中は操縦業務と共に、教官として乗員養成の初期過程を担当したことや、ミッションディレクターとして運航統制責任者の任務に従事

した時期もあります。

これらの経験を活かして、学生の皆さんが安全に訓練を実施し、知識・技術を習得できるように教育を行なっています。本専修の飛べるエンジニアを育てると言う考えに共感し、機械工学の知識を航空機の操縦操作に活用する有益性などを説明した上で、小型機を使用した実運航を実施することにより、知識のみならず技術面でも経験豊富な操縦士やエンジニアを養成できると感じています。また、安全運航にはチームワークが不可欠です。自身の経験を振り返っても、仲間同士で助け合い、切磋琢磨することの大事さを実感していますので、その大切さも日々伝えていきたいと思ひます。

最近では航空機を取り巻く環境も変化

し、ドローンをはじめとする無人航空機を活用される場面も増えてきました。航空機を操縦する上でもその存在が安全を脅かす要因にもなりえるため、無人航空機に関する知識を学生の皆さんと共有する事も今後の課題の一つと考えています。その他にも、気象環境変化や騒音問題、SDGs等、航空産業を取り巻く多くの課題に、今から向き合い、仲間と共に学び研究して、社会に貢献していく事は、とても有意義でやりがいを感じてもらえるものと確信しています。少しでもその手助けが出来るよう尽力して参ります。今後ともお力添えを頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



理工学部
電気電子工学科
准教授

加来 滋

2023年4月より理工学部電気電子工学科に准教授として着任いたしました。2010年3月に九州大学で物理学の学位を取得し、東京工業大学にて助教として13年間勤務いたしました。専門は物性物理学実験と呼ばれる分野です。主に半導体などの固体表面

に注目し、結晶の成長や電子物性を研究して来ました。もう一つの特徴は微視的な実験手法を用いることで、走査トンネル顕微鏡によるナノスケールの観察を重視しています。最近では、固体表面の上に2次元材料を貼り合わせた積層構造の研究に取り組んでいます。2次元材料は原子一層分の厚みしかない究極的に薄い材料で、これまでの物質では不可能だった新しい電子・光デバイスへの応用が期待されています。また、非常に薄いので省資源の視点でも注目されています。2次元材料の先鋒とも言えるGrapheneは2004年に発見され、2010年にNobel賞を受賞しています。Grapheneは炭素原子が蜂の巣状に並んだシート形状を持

ちますが、同じく炭素原子からなる直線的な構造のCarbon nanotubeや球状形状のフラーレン等と共に、大変ユニークな構造に由来する新しく大きな可能性が期待されています。私の研究はまだ基礎研究の段階ですが、将来日常生活で実際に使われるようなデバイスの開発に繋げられるよう努力して行きたいと考えています。

法政大学では、研究に加え、深く教育に携わらせていただけることを大変うれしく思っております。講義や研究室の活動を通して、社会の第一線で活躍できる学生を育てられるよう、教育面でも努力して行きたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



理工学部
応用情報工学科
准教授

山岸昌夫

2023年4月より理工学部応用情報工学科に着任いたしました。2023年3月までは東京工業大学工学院で助教として「データサイエンスと数理最適化」に関連する研究に従事しておりました。法政大学着任後も引き続き同じテーマを掲げて研究を行っております。

データサイエンスは、「データに潜む有

益な情報を抽出し活用すること」を中心課題とする非常に広範な分野です。私は、その中でも、情報抽出を実現するための手続き（いわゆるアルゴリズム）の設計に関する研究を行っています。有益な情報の抽出には、様々な分析手法を駆使することも重要ですが、それに匹敵するぐらいに人間の洞察力を活かすことが重要です。ここでの洞察力とは、抽出されるべき情報の姿や特徴について予測を立てる力のことです。この「理想的な情報はかくあるべし」というアイデアを基にしてアルゴリズムを構築することで、情報抽出性能の向上を実現することを目指しています。

一般的に、アイデアを基にしてアルゴリズムを構築することは簡単ではありません。この困難を打開する鍵が、数学の一分

野である数理最適化です。数理最適化は、与えられた制約の下でコストを最小化する問題（最適化問題）に対して、その問題の性質や解き方などを研究している分野です。つまり、情報抽出問題を「我々のアイデアを活かす最適化問題」として定式化することで、数理最適化が「解き方（つまりアルゴリズム）」を導く大きな指針となってくれます。

まだまだ未熟者ですが、法政大学の一人として、数理最適化の高い汎用性を活かして皆さまと関わりながら、自身の研究を発展させていきたいと考えております。さらには、教育・研究活動を通して、法政大学の発展に貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



理工学部
創生科学科
准教授

すけがわ 鮎川矩義

2023年4月に創生科学科に着任いたしました鮎川矩義と申します。前職の筑波大学ではデータサイエンスの教育研究に従事しておりました。教育面では数理・データサイエンス・AIプログラムの運営に、研究面では糖尿病の発症を予測する機械学習システムの開発などに取り組んでいました。

私の専門は、広く言うとデータサイエンス、狭く言うと最適化です。最適化は「最適解」を計算するための方法論を研究する学問分野です。特に、離散構造と呼ばれる、パズルのような構造を対象とした方法論に注力しています。最適化の身近な応用例は研究室配属です。研究室配属は、先生と学生が納得し、不満が最小となる、その意味で、最適な配属を求めるといふ、最適化の問題とみなせるためです。これを一般化した問題は、現在、ゲーム理論や機械学習などの分野も巻き込み、最適化の特に重要なテーマのひとつとなっています。私はこの問題に大学3年生のときに研究室配属の当事者として興味を持ち、その後、最適化に魅了され、現在に至ります。

最近では、非線形力学、電子商取引、心理学、都市計画、ロボット工学など、分野の異なる専門家や研究者の方々と協力して、最適化の応用場面を開拓し、技術の高度化や知見の発掘に繋げることに注力しています。創生科学科はそんな私にとって絶好の場で、先生方にはいつもよくしていただき、毎日が楽しく充実しています。学生の皆さんには、激変する社会に柔軟に対処するための能力を備えてもらえるよう、共創することの素晴らしさや強さを伝えていきたいです。皆さんから多くを吸収し、法政大学のさらなる発展に貢献していきたいと、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひいたします。



生命科学部
応用植物学科
専任講師

池田健太郎

2023年4月より生命科学部応用植物科学科に着任した、池田健太郎と申します。前任のより総合診療研究室を引き継ぎました。

大学で博士課程を修了後、21年間のほとんどの期間を農業関連の研究機関で過ごしました。特に、生産地で問題視されていた植物病の防除に焦点を当て、化学農薬に頼

らない防除法の研究を行いました。それらのテーマに加えて、新しいツールとしてドローンやGISを導入し、植物病の発生要因なども明らかにしてきました。

2004～2007年の3年間は、JICAの長期専門家としてブラジル・アマゾンで森林保全に関する国際プロジェクトに携わりました。このプロジェクトでは、植物病によって農地が荒廃し、新しい農地を求めめるために森林が伐採されていた中で、植物病を管理しながら持続的に栽培を続ける方法の開発と普及に取り組みました。

以前より、植物病について生産者に理解しやすく伝えることを信条としており、現在はその経験を基に、授業や実習、研究室でのゼミや指導を通じて楽しく仕事をしています。これまでの生産現場で培われた経

験や知識を若い世代に伝えて行きたいと考えています。

地球温暖化や地球規模での食料供給網の変化もあり、農業生産や食料の安全保障についての厳しい時代が迫っています。様々な農業技術の中でも、輪作は、同一の農地で異なる作物を交互に栽培する方法で、特に植物病の発生を予防または抑制するための持続的な技術として期待されています。ここ法政大学では、輪作が持つ多くの潜在的なメリットに焦点を当てて研究を進めたいと考えています。このように農業に依存しない農業生産のあり方に関する研究を進め、世界の食糧供給に貢献したいと考えています。



生命科学部
応用植物科学科
任期付講師

鶴岡康夫

2023年4月より生命科学部応用植物科学科に着任いたしました。私は、これまで千葉県職員として、農業改良普及員で4年、千葉県農林総合研究センターの研究員で36年間勤務し、農業経営学を専門分野とするキャリアを形成することができました。今回、法政大学で教員として勤務する機会を

得て、私自身の新しい挑戦としてワクワクしています。

今、世界では、地球環境・温暖化問題への対応、人口の増加と食料安全保障・食の権利への対応、そして、社会の不確実性増大による不安定化など、複合的課題の多い時代の中で、農業を持続的に発展させるため、生産から流通・消費まで、食料システム全体を新しい方向へ向ける政策が先進各国で実施されています。

日本では、輸入農産物との競合、担い手の高齢化や減少、耕作放棄地の増加などにより農業の生産力が脆弱化している一方で、経営規模を拡大し、技術革新をし、雇用人材の導入と育成に取り組み、事業を複合化・多角化し、流通・販売を変革してい

る新しい農業経営体が育っています。こうした新しい農業経営体を中心とした農業・農村発展への戦略作りを支援する、技術経営を視点とした実践的な教育、研究に取り組みたいと考えています。

これからの10年は、次世代の日本農業の礎を築く、重要な10年になると考えられます。当学科の取り組みにおいても、気候・気象の変化、農作物の生育ステージ・病害虫発生消長の変化、農業経営の大規模化などに伴う病害虫防除管理体制の変化、政策の変化などを背景として、期待される役割はより多様になっていくものと考えられます。これらのことについて、社会科学の立場から考察し、期待に応えられるよう貢献したいと考えています。



情報科学部
コンピュータ科学科
教授

NICHOLAS DELGREGO
(ニコラス デルグレゴ)

過去4年間、法政大学で兼任講師として働かせていただきました。法政大学だけでなく、日本の小中高等学校でも教えたり、また、九州（佐賀県）、関西（大阪府・京都府）、東海（愛知県）、関東（神奈川県・東京都・千葉県）などで教員として経験させていただきました。

法政大学に着任前は、山梨県の公立大学の専任教員でした。法政大学に転職した主な理由は、前職では学部の教員ではなく一般教育や基盤教育に所属していたからです。私は教育学の専門家であり、キャリアの大半は学生の成長を長期にわたって見ることができませんでした。私が担当した1年生の科目は多かったです。もちろん、学部生として大事な一年目の思い出をたくさん作りましたが、何か足りませんでした。私は法政大学の情報科学部のメンバーとして、学生が4年間かけて成長していく姿を見ることができます。

前置きが長くなりましたが、私の研究分野は教育学であり、学生がどのように学び、どのように学び合うかを研究していま

す。教育の分野では、これを「ピア・ラーニング」と呼んでいます。この方法は特に日本の大学生に役立つと思います。更には教室の内外で学生がどのように学ぶかを研究しています。博士論文のテーマは、日本の大学におけるライティング・センター（アカデミック・サポート・センター）が日本の教育制度にどんな影響を与えているかについてです。

まだ法政大学に着任したばかりで、わからないことがたくさんあります。学生には、話しかけやすい教員と評されているようです。皆さんに助けられながら、自分ができることについては大いに参加し、法政ファミリーの一員として頑張っていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。



デザイン工学部
建築学科
教授

中野淳太

2023年4月よりデザイン工学部建築学科に着任しました。東海大学工学部建築学科にて18年間勤務し、建築環境工学分野の教育と研究に携わってきました。東海大学湘南キャンパスは、東京ディズニーランドと同等の豊かな敷地面積がある一方で、新宿駅から電車で1時間+最寄り駅から坂道で

徒歩20分という立地にありました。大学へのアクセスは、学外の方々との接点を左右する大きな要因になっていたと市ヶ谷に来て実感しています。

人々の生活や活動に深く関わる建築分野は、これからの脱炭素社会に向けて大きな貢献が求められています。快適な室内環境を維持するのに多くの空調用エネルギーが使われていますが、過度の我慢を強いることは健康性、快適性、知的生産性を損ねます。近年、建築の熱性能や設備の機器効率を高めたZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）が増えてきています。ハードウェア技術も重要ですが、人間の生理、心理、行動を知ることによって、より賢く使いこなすことができます。例えば、我々はその日の気候に合わ

せて衣服を選び、暑ければ日陰に入り、服の袖をまくり、うちわで扇ぐなどして、その時々環境に自分自身を適応させています。屋外では自然にできることが、オフィスなどの室内では1℃の違いにもクレームが出るほど空調に依存しています。人の環境適応ポテンシャルを建物内でも活かせれば、快適性を犠牲にすることなく、空調エネルギーの削減が可能です。「半屋外環境」をキーワードに、アトリウムや鉄道駅などの実際の空間で人の行動や心理のメカニズムを調査しています。利用者が環境に適応しやすい状況を提供できる、建築と設備のあり方の解明が目標です。どうぞよろしくお願ひいたします。

活躍するOB・OG

渡邊 嘉二郎先生の 叙勲を祝う会が開催されました

創生科学科

2015年3月まで創生科学科教授を務め、現在は名誉教授としてご活躍している渡邊嘉二郎先生が、2023年春の叙勲で瑞宝中綬章を受章されました。この素晴らしい栄誉を祝して、理工学部創生科学科および創生科学科同窓会共催の共催し、2023年10月7日14時から「渡邊嘉二郎先生の叙勲を祝う会」が法政大学市ヶ谷キャンパスポアソナードタワー 26階スカイホールで盛大に開催されました。

祝う会では渡邊先生の奥様を含む総勢93名が参加し受章を心から祝いました。

祝う会の中で、渡邊嘉二郎先生と深い縁を持つ著名なクラリネット演奏者の前田優紀様（東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、ベルリン芸術大学オーケストラ科修士課程修了）と、ベルリン芸術大学で共に学ばれた著名なバイオリニストの廣瀬心香様との共演が行われ、クラリネットとバイオリンの美しい演奏が披露されました。

渡邊嘉二郎先生は、計測制御工学の分野で優れた業績を上げ、教育者・研究者としても多大な貢献をしました。法政大学での教鞭では、制御工学や計測工学、創造性に関する講義を担当し、多くの学生や院生を指導しました。先生の指導の下で176名の修士、10名の博士が育成されています。研究分野では、制御工学やセンシング工学において440編以上の学術論文を発表し、12冊の専門図書を執筆し、21件の特許を取得するなど、幅広い研究活動を展開されました。

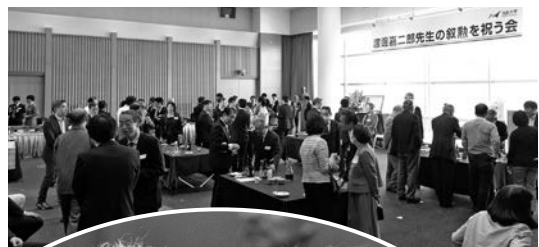
特に、自動車燃料計測や機械故障診断の分野で優れた業績を挙げ、多くの賞を受賞しています。また、先生はセンシングの手法を医学分野に応用した研究にも取り組み、医療計測関係の学術論文に対して博士(医学)の学位を授与されるなど、医療技術の発展にも貢献しています。先生はまた、法政大学工学部長として、21世紀のカリキュラムを展望し、大学の小金井キャンパスを整備するなど、大学の基盤を築く重要な役割も果たしました。社会的にも、経済産業省の審議会委員や地方自治体の委員、岩手県北上市しらゆり大使など、多くの公職を務め、国や地方自治体の行政支援に貢献しました。その他にも、高圧ガス保安協会の研究主査として長年にわたって活動し、液化石油ガスの保安に貢献し、その功績が認められました。



以上のように、渡邊嘉二郎先生は大学教育、研究、社会的活動の各面で顕著な業績を挙げ、多くの人々に影響を与えました。

渡邊先生の受章は、創生科学科同窓会や関係者全員にとっても誇りと喜びであり、そのご功績とご尽力に敬意を表します。心からお祝い申し上げます。今後もさらなるご活躍が期待される渡邊先生のご成功を心から祈念申し上げます。再度、瑞宝中綬章の受章おめでとうございます。

小林 一行 (計測89)



窓



本年度も、COVID-19の影響でほとんどの同窓会活動が困難な状況でしたが、電気電子工学科・都市環境デザイン工学科の2同窓会からのたよりを掲載いたします。

電気電子工学科

村主会長を引き継いで電気電子工学科同窓会会長を拝命いたしました宮川裕之と申します。

私は1982年3月に工学部電気工学科電気電子専攻を卒業しました。大学院工学研究科修士課程では故・稲田太郎先生ご指導の下で半導体工学を専攻し、企業勤務を経て2018年より5年間教育技術嘱託として理工学部電気電子工学科で働く機会をいただきました。この度、縁あって電気電子工学科同窓会会長を務めさせていただくこととなった次第です。皆さまどうぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスは2023年5月に5類感染症に移行したものの、残念ながら今年度電気電子工学科同窓会独自のイベントを計画・実行するには至りませんでした。

2024年度は卒業生の皆さまがご参加いた

だけのイベントを企画し、皆さまとの交流を復活させたいと思います。ご意見、ご希望などお寄せいただけましたら幸甚に存じます。

宮川 裕之 (電82)

都市環境デザイン工学科
『法土会』

『法土会』は宮下清栄先生が2期目の会長に就任し、まもなく1年が過ぎようとしています。

コロナも5類となった今年度は理事会活動も活発に開催され精力的な活動ができました。

主な活動として、**第1回目の理事会**において年度行事の打合せのほか、在校生・卒業生に対する『技術士の受験合格支援』などの新しい試みも議論しました。また、7月4日(火)に行われた**学科教授と法土会理事(参加者：教授7名、理事14名)**との懇談会でも技術士の支援を議論し学校側にも協力を依頼しました。

10月5日(木)には**キャリアデザインセミナー「第12回卒業生と学生との意見交流会」**を、3年生・修士1年生が学生自身で進学や就職等の進路検討の一環授業として開催しました。第一部は、卒業生6名によるパネルディスカッション。第二部では、



パネルディスカッションの様子

業種別に65企業・団体、総勢123名の卒業生と学生が個別意見交換を行いました。あわせてに5年振りとなる懇親会を地下食堂で開催しました。

12月18日(月)には、卒業生と大学・学生との情報交換ならびに意見交流を目的とした**社会工学セミナー**を開催しました。(対面+リモート) 大学からは山本佳士教授が「シミュレーションとデータサイエンスの連携による設計・施工・維持管理技術の高度化」を、また卒業生からは、1982年修士修了の国際協力機構 国際協力専門員の久保田広志さんによる「水道分野の国際協力と人材育成」のご講演いただきました。今後の活動として、卒業式に配布してきた「卒業生に送る」の編集作業を予定しています。

なお、今年度からペーパー配布していた『法土会報』はメールおよびWebによる配信といたしました。

山川 宏明 (土84)



人を想い、場を創る。

Loving people, creating places

自分らしく生きる人を増やし、笑顔があふれる社会へ。オカムラは人を想い、人が生きる場を創ります。

To increase the number of people who can live their lives in their own way, and to build a society full of smiles, Okamura will continue loving people and creating places where they can thrive.

人を想い、場を創る。

OKAMURA

株式会社オカムラ

創 業	1945(昭和20)年10月
代 表 者	代表取締役 中村 雅行
資 本 金	186億7,000万円
売 上 高	2,770億円(2023年3月/連結)
従 業 員	3,884名(2023年3月/単体)
事業内容	オフィス家具・店舗什器・物流システム機器・セキュリティ機器・公共施設什器等の製造及び販売

2025年卒採用枠にて
エントリー受付中です



株式会社オカムラ 人事部人財採用課
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1
ニューオタニガ ーデ ンコート26階
Eメール JINJI_OKM@okamura.co.jp
TEL 03-6731-7204

窓



法匠会報

法政大学 デザイン工学部 建築学科 同窓会会報

第56号 2024年3月1日

発行所 〒184-8584
東京都小金井市梶野町 3-7-2
振替口座 00110-5-89264
TEL・FAX (042) 387-6385
法政大学デザイン工学部建築学科同窓会
発行人 松尾 秀文
編集人 会報編集委員会

デザイン工学部建築学科同窓会『法匠会』2023年活動

2023年(1~12月)の法匠会の様子を主要な活動で振り返り報告いたします。5月にコロナ感染症が5類に移行し街に活況が戻るなか、ライブな形の活動ができました。活動詳細は、広報活動の一環であるHP<法匠会 | 法政大学建築学科同窓会 (sakurane.jp)>にてここで割愛しました情報も含めご覧いただけます。

3月

●18日、対面講評+オンライン視聴のハイブリッド形式にて**第19回大江宏賞公開講評審査会**が開催されました。各案の本質を突く講評を経て、魅力的な建築空間造型の実直な説得力が評価され福島将洋さんの作品が栄冠を獲得しました。在学後半3年をコロナ禍の特異な状況で過ごしなが見事な提案に昇華した7案が多くの感慨を与える講評会でした。



6月

●24日、自由学園明日館にて**大江宏賞受賞者へのメダル授与式**を行いました。賞創設メンバーでメダルデザインをされた猪野忍さんより受賞者福島将洋さんにメダルが授与されました。エントリーした方々の近況報告を交え懇親の場ともなりました。



7月

●9日、**大江新先生+石井翔大さんの出版を祝う会**がアルカディア市ヶ谷にて開催されました。大江新先生が『東京・再開発ガイド一街とつながるグラウンドレベルのデザイン』(学芸出版社)を、石井翔大さんが『恣意と必然の建築—大江宏の作品と思想』(鹿島出版会)を、今春相次いで出版されたことを機したものです。名誉教授・研究者をはじめ多くの同窓生が参加し盛況なお祝いとなりました。



9月

●19~24日、**第26回法匠展50**^{*1}を開催しました。教員・卒業生の22作品のほか、大江宏賞受賞作の展示、66年卒の朝吹正行さんのミニコンサートなど多様な文化祭のようなアート展となりました。加えて、**法匠祭イベント〈学生による建築設計作品展〉**^{*2}も同時開催され、在学生と卒業生が交歓し盛況な企画となりました。



※1



※2

見学会・その他

●同窓生が設計した建築をご当人の案内で見学する企画が開催されました。04/02: MIYASHITA PARK (07年卒: 吉本晃一朗さん)、05/24: CIC TOKYO (97年了: 小堀哲也さん)、07/30: バスターミナル東京八重洲 (09年卒: 中山佳子さん) の3回。参加した在校生・卒業生ともに、刺激溢れる研鑽の時間となりました。

●04/14に自由学園明日館にて「**朴賛弼さんを囲む会**」が開催されました。3月大学定年退職を機に、長年の研究・教育・日韓交流活動の労をねぎらい今後の活躍を祈念する多くの方々が集まる心温まる会でした。



理系同窓会 2022年度 褒賞授与者一覧 (2023年3月10日)

学部・学科	氏名	卒論テーマ
理工学部	機械工学科	熊井 響 希 eVTOLの空力特性に関する数値シミュレーション ー垂直離着陸機構が揚抗比に与える影響ー
		八木 泰 樹 航空操縦学専修
	電気電子工学科	高野 歩 海 トカマクプラズマにおける磁気流体不安定性の非線形シミュレーション研究
		山本 伊 咲 エルゴード的セルオートマトンを用いた喘息における免疫系モデルについて
	応用情報工学科	工藤 涉 真 ドメイン適応による撮影環境に対して頑健な植物病害診断システムの構築
		富山 徹 動的解析によるマルウェア検知手法
	経営システム工学科	林 真 衣 評価者の影響を考慮した2値項目反応モデルの提案
		澁谷 あかり 政策や抗体保有調査データを考慮したCOVID-19感染者数の推定
	創生科学科	榎本 遥 Dragonfly 望遠鏡を用いた空き家天文台計画 ～オートガイド制御システムの開発～
		飛田 向日葵 科学娯楽漫画の学習効果 ～『はたらく細胞』を中心に～
デザイン工学部	建築学科	吉富 衿 香 福祉施設における緩衝空間の研究
		小野塚 玲那 企業を社会にひらくーオフィスビルと周辺環境の包括的分析ー
	都市環境デザイン工学科	長田 奈々 戦後の集合住宅における住民の集住意識の変遷 ー高島平団地の自治会会報を対象にー
		吉本 慎 明治前期の東京における水系と水利用
	システムデザイン学科	小林 さくら テーマパーク・遊園地での予約搭乗券による混雑緩和
		森 美月 創造意欲を育成するアクリルと鏡を用いた玩具の制作
生命科学部	生命機能学科	根本野 乃子 蛍光センサータンパク質を用いた大腸菌膜電位変化の1細胞計測
		秋山 浩一朗 巨大リポソームへのクラミドモナス除膜細胞モデルの封入
	環境応用化学科	坂口 怜平 鎖末端にアントラセニル基を有する5本鎖星型ポリカプロラクトンの合成と熱的性質
		北村 幸太郎 ポリメタクリル酸2-(N,N-ジメチルアミノ)エチルを含む両親媒性トリブロック共重合体の合成と溶液挙動
	応用植物科学科	石山 理紗 薬用植物セネガに発生した菌類病に関する研究
		島崎 優也 トマト青枯病 (<i>Ralstonia solanacearum</i>) に対する焼ミョウバンの防除効果ならびに主要樹木品種 (東日本地域) の抵抗性検討
情報科学部	コンピュータ科学科	柳井 颯斗 敵対的 Tetris のための深層強化学習の研究
		関口 睦希 視界に制限のあるライト付きモバイルロボットによる蜘蛛グラフ探索
	デジタルメディア学科	平間 雄一 DirtyMem モデルにおける方向音痴エージェントのグラフ探索
		高橋 美佳 構文解析情報を利用した感情分類

感動はチャレンジからしか生まれない

～トライで社会を変えるすべてがここにある～



「デジタルくん」

■CAD/CAM/CAE 専門開発

PLMIに関する導入・研究開発・専門システム開発・多種メカ連携構築・テクニカルユーザーサポート

■インフラ環境構築・開発

企業サイト・データベース・ビッグデータ・Webシステム開発・クラウドサービス構築・導入調査

■企業バイヤー業務支援

購買調達の代行(見積・折衝・調達・コスト削減)・導入システム審議・導入監査・コンサル



TRY-S Co., Ltd.

(専門ソフトウェア開発)で「モノづくり」企業を支える

チャレンジ精神と「トライ」でいい会社です。

株式会社トライエス
岡山本社 岡山県岡山市
東京オフィス 東京都新宿区
宇都宮事業所 栃木県宇都宮市

理系同窓会

理事 高橋 敏男
建築 1972年卒〒362-0065 埼玉県上尾市畔吉1115番地2
TEL 090-5519-0011 FAX 048-773-3086

中尾建設工業(株)

代表取締役 中尾 美佐男
建築 1982年卒〒175-0083 板橋区徳丸4-11-2
TEL 03-3935-3311

理系同窓会

相談役 松谷 勝
電気 1971年卒〒359-1146 所沢市小手指南6-14-9
TEL 04-2949-7388

理系同窓会

事務局長 安田 彰
電気 1986年卒〒184-8584 小金井市梶野町3-7-2
TEL 042-387-6385

理系同窓会

理事 山川 宏明
土木 1984年卒西武建設(株) 取締役執行役員土木事業部長
〒359-8550 埼玉県所沢市くすのき台1-11-1
TEL 04-2926-3359

理系同窓会ホームページURL

<http://133.25.196.100/>

最先端の自動制御技術で
建物にある
“しあわせな空間”を支える



オフィスや学校、ショッピングモールなど
私たちが普段過ごしている建物はいつも快適で安心。
この当たり前を担っているのが
ビルディングオートメーションシステム(自動制御システム)。
私たちはこのシステムを通じて“しあわせな空間”を
支えています。

「建物トータルソリューション事業」

- ・システムメンテナンス事業
- ・システム施工事業
- ・省エネソリューション事業
- ・ビル設備管理事業

1day仕事研究を開催中！

エントリーは下のQRコードから簡単入力！

\ 1dayはこちら /



マイナビ2025
エントリーフォーム

\ 全学生向け /



リクルーティングサイト
(採用情報)

Green & Smart

2030 SPC030年 に向かって
人と環境を大切にする技術を提供し続けます



スチールプランテック株式会社

環境対応型高効率アーク炉「ECOARC™」シリーズと無人化ロボット、AI制御システムを提供しています。



SwiftWing Sirius NDR

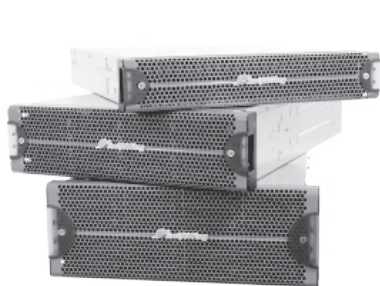
10M ~ 100Gbps All Range Ethernet Network Drive Recorder

SwiftWing Sirius NDR は、現在一般的に利用が可能な 10Mbps ~ 100Gbps Ethernet(10M/100M/1G/10G/25G/40G/100G)の複数メディアI/Fの同時キャプチャに対応した業界唯一のPCAP Recorderです(2022年1月現在 当社調べ)。



最大20.0PBの大容量ストレージを装備し、長期間に亘り200Gbps以上のストリームが取得可能です。

取得したパケットデータは、tcpdumpやWireSharkの標準フォーマットであるPCAP形式を採用しており、任意のPCAPアプリケーションで使用可能です。



Rack Mount Model



Sirius NDR Portable M



Sirius NDR Portable Compact

MADE IN  TOKYO

✓「神は細部に宿る」

SwiftWing Seriesは、2003年より当社で企画・開発・販売を行っている国産製品です。販売以来、20年の開発実績と国内外の数多くのお客様への導入・長期に亘る運用実績が御座います。

特 徴

- ・マルチチャンネル・マルチポートアサイン機能
- ・ロングターム・パケットリプレイ機能
- ・直感的目つ簡易な操作を実現するWeb GUI
- ・"PCAP to Disk"
- ・外部アプリケーションとの高い親和性
- ・簡単目つ柔軟性の高いフィルタ機能
- ・REST 定義の API を提供
- ・マイクロバースト解析/通知機能
- ・パケットデコード機能
- ・DPI解析プロープ捕右衛門をサポート
- ・マルチユーザキャプチャセッション保持機能
- ・スタートオンキャプチャ機能
- ・任意パケット検知及び通知機能
- ・フロー分選キャプチャ機能
- ・リモートアップグレード機能
- ・ユニバーサルフィルタ機能
- ・電源状態監視機能(ラックマウント型のみ)
- ・RADIUS/LDAP 等、各種ユーザ認証機能
- ・PTP/NTPクライアント機能及び外部 PPS 入力
- ・リアルタイムパケットデコード機能
- ・SNMP、Syslog/Eventlog 等、各種監視・通知機能
- ・ユーザ/チャンネル間のアクセス制御機能
- ・マルチポート/マルチカードリプレイ機能
- ・PCAPNGフォーマットのサポート(近日対応予定)



株式会社コムワース

〒143-0026 東京都大田区西馬込2-35-7 TEL:(03)3777-0888(代表) FAX:(03)3772-8497

<https://www.comworth.co.jp/>

代表取締役 岸本 裕之(きしもと ひろゆき) 1984年 法政大学第二高等学校卒 / 1990年 工学研究科 電気工学専攻(修士:中野研)卒

長期インターンシップ募集中

お問い合わせ:
株式会社 コムワース 採用担当 TEL:(03)3777-0888
E-mail: job@comworth.co.jp



会費一括納入者 (敬称略)

終身会費納入にご協力いただきました。
ご芳名を掲載して感謝を表します。

- 荒井 健 (土木77) | 土屋 建 (土木86)
- 柏木 宏文 (計測85) | 森 章 (土木62)
- 中村 徹 (土木78) | 大滝 正則 (経営84)
- 井納 誠 (電気72) | 十河 定俊 (計測80)
- 砂塚 廣子 (建築74)

寄付者ご芳名 (敬称略)

2023年12月23日現在、次の方々からご寄付を寄せていただきました。
皆様方の変わらぬご支援とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。

- 10口 鈴木 明彦 (経営76)
- 5口 平瀬 宏 (電気62)
- 五十嵐 哲矢 (機械74) 多田 昭洋 (電気66)
- 岡本 眞 (建築70) 矢内 崇雅 (電気68)
- 4口 梶玉 國彦 (土木64) 大堀 幸則 (電気72)
- 富成 英一 (建築87) 柘植 俊哉 (電気84)
- 宮澤 博行 (経営90) 富田 宏行 (電気86)
- 3口 渥美 晃一 (機械82) 高畑 始 (土木71)
- 山貝 貴洋 (機械2010) 渡辺 隆之 (土木68)
- 大八木 勇夫 (経営67) 有澤 廣久 (経営72)
- 2口 箱崎 泰弘 (建築70) 岸 良宏 (経営78)
- 安斉 正行 (経営83) 内村 隆一 (計測74)
- 1口 田宮 孝一 (機械85) 溝上 和紀 (計測75)
- 高塚 敏明 (機械86) 岸田 正幸 (計測82)
- 飯島 彰史 (計測95)
- 石井 直樹 (物質2009)

教員異動

●新任教員 (2023年4月1日～)

- 理工学部機械工学科 南部 安宏教授
- 理工学部電気電子工学科 加来 滋准教授
- 理工学部応用情報工学科 山岸 昌夫准教授
- 理工学部創生科学科 鮭川 矩義准教授
- 生命科学部応用植物学科 池田 健太郎専任講師
- 生命科学部応用植物学科 鶴岡 康夫任期付講師
- 情報科学部コンピュータ科学科
- NICHOLAS DELGREGO (ニコラス デルグレゴ) 教授
- デザイン工学部建築学科 中野 淳太教授

2022年度 理系同窓会収支決算書

収入の部				支出の部			
2023年3月31日				2023年3月31日			
科目	費目	2022年度予算	収支累計額	科目	費目	2022年度予算	収支累計額
会費	年会費	2,000,000	1,351,000	事務	印刷費	50,000	120,115
	特別終身会費	100,000	570,000		一般事務用品	50,000	29,129
寄付金	一般寄付	100,000	206,000		事務機具	20,000	84,900
広告会合	会報	200,000	580,000	事務嘱託	嘱託費	900,000	1,087,620
	役員会・懇談会等	0	0		出張費	0	0
事業費	ホームカミングデー参加費/他	700,000	262,000	通信	会報等郵送料	450,000	33,395
名簿・資産運用	受け取り利息	0	4		集金手数料	50,000	94,550
雑収入	祝儀他	400,000	140,000	各同窓会	還付金	400,000	270,200
	2021年度繰越金	0	3,593,895	育英	卒業記念品等	110,000	416,482
校友会	還付金	0	260,000	出版	会報印刷代	400,000	0
積立金等より	終身会費より	0	0		会報編集費	0	0
①合計		3,500,000	6,962,899	事業費	ホームカミングデー参加費/他	700,000	905,924
				会合	役員会・懇談会等	100,000	47,345
				渉外	慶弔交際費	120,000	10,000
				予備	同窓会室使用料他	0	50,000
				終身会費積立金		100,000	570,000
				②合計		3,500,000	3,719,660

2022年度 会務監査報告書

2023年4月21日法政大学理系同窓会室に於いて会則16条に基づき
会務全般にわたり監査した結果、事業も予定通り遂行され、会計
収支の取り扱いも適正に処理されていることを報告します。

監事 川上忠重 ㊟

③現在収支残高 ①-②

3,243,239

住所変更は必ずご連絡ください!!

住所が変わられた方は必ずいずれかの方法で同窓会まで
ご連絡ください。

- ①電話もしくはFAXにて
同窓会事務所 TEL/FAX 042-387-6385
- ②メールの場合
hosei.rikei.alumni@gmail.com

理系同窓会の運営は会員の方の会費で行っております。
同封の払込取扱票にて年会費をお支払い願います(終身会員除く)。
また終身会員への変更、ご寄付など随時承っております。

郵便振替口座 001105-89264

●ご不明な点はお問い合わせください。●

〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2
法政大学理系同窓会事務局

編集後記

2024年は元旦早々、能登半島地震が発生しました。お亡くなりになられた方のご冥福を祈ると共に、家屋の崩壊、道路の寸断、液状化、電気・水道・電話などライフラインも全滅となり、改めて自然災害の脅威を感じると共に、被災された方々が一日も早く通常の生活に戻れるよう祈念致します。

翌日2日には、羽田空港での日本航空の旅客機と海上保安庁の航空機の衝突も衝撃的な事故でした。その中でもJAL機の367人全員が無事脱出できたことは、乗務員の機敏な判断と対応、また、乗客の協力もあってのことで、普段からの心がけと訓練の大切さを改めて痛感致しました。

2023年5月には新型コロナが第5類に移行し、人の往来や流通、経済活動も盛んとなってきました。しかし、インフルエンザの流行や新型コロナの第10波とまだまだ油断できません。手洗いうがいには欠かさずこの冬も乗り越えたいところです。

広報担当 土木(都市環境デザイン)工学科 1984年卒
山川 宏明